

2014-10-2

ふじさわ・九条の会ニュース

NO38



発行人 ふじさわ九条の会 事務局長 島田啓子 0466-34-5843

<http://hws2.spaaqs.ne.jp/fujisawa9jo/>

mail:mk-muran@cityfujisawa.ne.jp (ニュース担当)

安倍内閣の集団的自衛権行使容認の

閣議決定は認められない!!

戦後の集団的自衛権の政府見解を覆した 安倍内閣の閣議決定

安倍内閣は、多数の国民の反対を押し切って、去る7月1日、集団的自衛権行使容認の閣議決定を行った。歴代内閣は長年、憲法9条の解釈で集団的自衛権の行使を禁じてきた。しかし、今回安倍内閣は、その積み重ねを崩し、憲法の柱である平和主義を根本から覆す解釈改憲を行って、集団的自衛権の行使容認を行ったものである。

自衛隊発足から60年、第2次世界大戦での多くの犠牲と反省の上に立ち、平和国家の歩み続け、「専守防衛」に徹してきた日本が、直接攻撃されていなくても他国の戦争に加わることができる国に大きく転換する閣議決定を行ったもので、次の「武力行使3要件」を満たせば、集団的自衛権の行使が憲法上可能とした。

武力行使3要件とは

(1) 我が国に対する武力攻撃が発生した場合のみならず、我が国と密接な関係にある他国に対する武力攻撃が発生し、これにより我が国の存立が脅かされ、国民の生命、自由及び幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある場合に、(2) これを排除し、我が国の存立を全うし、国民を守るために他に適当な手段がない時に、(3) 必要最小限度の武力行使をすることができるとしたもの。

閣議決定を受け、政府は早速 集団的自衛権行使推進の作業開始

安倍首相は7月8日、集団的自衛権行使容認の閣議決定を受け、早速、(1) オーストラリア議会で、日豪関係は、安全保障分野に拡大する「特別な関係」の始まりであると演説したり、また(2) 防衛省は、「集団的自衛権の行使は憲法上許されない」とするホームページを削除し内容を修正する作業に入るとHPにかきこみました。

閣議決定に加わった公明党は

従来の政府見解と何も変わっていないと主張
ところが閣議決定に加わった公明党は、慎重に閣議決定の文言を読めば、じつは「集団的自衛権の行使は認められない」とする従来の政府見解と何も変わっていない、実際は個別的自衛権と集団的自衛権の重複する領域を明らかにしただけで、従来の政府見解を一步も踏み越えていないと指摘。

法制化反対の国民運動で

閣議決定を粉碎しよう

閣議決定は集団的自衛権の推進を決めたものとする安倍首相。いや、安倍首相の手を縛ったものという公明党。いずれにしても来年の法案審議で決着をつける必要がある。集団的自衛権行使が認められたと法制化を急ぐ安倍首相の鼻を明かしてやるためにも、安倍首相の手をしぼったという公明党も味方につけ、法制化反対の国民運動を一層強め、閣議決定を粉碎して行く必要がある。(ニュース担当 小林麻須男)

全国で40万筆を超えた 「憲法9条にノーベル 平和賞を」の署名



7月のニュースに同封した「憲法9条にノーベル平和賞を」の署名へのご協力、ありがとうございます。のぼり旗を持って街頭で集めた署名と皆様から返送された署名を合わせて当会として1462筆を実行委員会へ送ることができました。全国では9月初めに40万筆を越えたということです。

「戦争の放棄を明言している、世界に誇れる憲法を守るために、何かしたいと願いながら無為に過ごしておりました。この憲法を守っている国民をノーベル賞の対象に——なんて素晴らしいことを思いつく方がいらしたのでしょうか。深く心を打たれました。普段署名は苦手で避けている私ですけど、今回は参加して他の方たちにお声をおかけしたいと初めて思いました。参加させていただいて、本当にありがとうございました。」返送された署名簿といっしょにこんなうれしいお便りも届きました。

さらにうれしいことに8月には「9条にノーベル平和賞」実行委員会が、マレーシアの「マラヤWWII歴史研究会」（マラヤ第二次世界大戦歴史研究会）が今年創設した「アジア平和賞」を受賞しました。その理由として「日本の権力者たちの政治的な動きとは別に、戦争体験を厳しく総括して、戦後の平和主義国家日本の姿勢をどこまでも守り通すことで、アジアの近隣諸国をはじめ世界からの信頼をより確実なものにしたいと努力を重ねている日本の草の根の市民に、心からの共感と声援を送ることで、アジアの平和確立を目指す賞の意義に相応しい」ということです。

ノーベル平和賞の受賞発表は10月10日午後6時（日本時間）です。吉報が待たれます。

（事務局長 島田啓子）

全国をリードした、 藤沢に於ける「秘密保護 法反対のパブコメ」



松本和美

今年の8月8日、横浜で、ひみかな（ストップ秘密保護法かながわ）主催の秘密保護法パブコメ

学習会があり、藤沢から11人が学習会に参加しました。そこで海渡双葉弁護士に、そもそも秘密保護法とは・・・というところから、秘密保護法の問題点、その運用基準の問題点をわかりやすく教えてもらいました。

その後、「秘密保護法廃止をめざす藤沢の会」が藤沢で「パブコメ学習会」を開きました。そこにも12人の参加者がありました。ひとりではどうも読めなかった運用基準も学習会のおかげで目を通すことができ、仲間と協力して作った文例30は「秘密保護法廃止をめざす藤沢の会」のHPに掲載され、それだけでなく提出したパブコメもHPに掲載しました。私もブログに文例を載せ、パブコメを出そうと呼びかけました。

朝日新聞によるとパブコメ募集が始まって最初の10日間ではたった500通の提出しかなかったそうです。それが最終的には23820通の提出があり、最終日には12000通もの提出があったそうです。パブコメ提出の呼びかけには「秘密保護法廃止をめざす藤沢の会」が大きく貢献したと思います。

9月10日の官邸前の集会では、「秘密保護法廃止をめざす藤沢の会」のピンクの幟を見た人から「藤沢は頑張ってますね。パブコメのときには参考にさせてもらって、助かりました」と言ってもらいました。

これからも、私たちは「秘密保護法廃止へ実行委員会」とともに、この法律の廃止を訴え、民主党にはほかの野党と一緒に廃止法案を出すべきだと訴えていかねばならないと思います。

地域九条の会の 活動交流会おこなわる (8月1日)

藤沢市内には、8つの「地域九条の会」がありますが、8月1日、市民活動推進センターで活動交流会を持ちました。席上、それぞれの地域九条の会から、ユニークな活動が報告され、ふじさわの地域九条の会が躍動していることを実感することができました。

「善行地域九条の会」

今年結成したばかりですが、早速、のぼり旗をつくり、毎月、駅頭宣伝をしており、日大生への宣伝行動に5名が参加しました。

「藤が岡周辺九条の会」

学習会の持ち方がユニークで、全体のお話のあと五つのグループになって、戦争と平和の問題を語り合い深め合う中で、「9条にノーベル平和賞を」の署名がたくさん集まりました。

「明治地域九条の会」

安倍政権の横暴に黙ってられないと、これまで開店休業状態でしたが、この程「復活」。当面、学習会を進めながら、今年の秋の「ふじさわ・九条の会」の地域大量宣伝行動は、明治地域が引き受けることになりました。

「湘南台九条の会」

毎月一回の駅頭宣伝を、もう何年も続けているとのこと。そして、市民との対話が必要となる署名活動などにもきちんと取り組んでいる。

「湘南大庭九条の会」

初めは「大庭九条の会」として発足しましたが、その後、地域を広げて、「湘南大庭」となりました。この会の特徴は「わいわい憲法塾」で、憲法から安保体制まで学習を重ねてきたことです。また、もうひとつの特徴は、記念集会で、日本の侵略戦争に題材をもつ寸劇に取り組んだりしていることです。

「江ノ電沿線九条の会」

「子どもたちの未来のために」をスローガンに、毎月一回憲法学習会と駅頭宣伝をしています。またこの会の特徴は、江ノ電沿線ということで鎌倉の「腰越九条の会」との交流もやっています。

「六会・九条の会」

カラー印刷でニュース「ねがい」を発刊し、2014年3月で50号に達している。さらに、公民館まつりでは展示コーナーに九条の会らしいテーマで展示発表を毎年おこなってきています。

「辻堂文化九条の会」

「九条バンド」を結成し、辻堂駅での毎月の宣伝行動で演奏するだけでなく、他の団体のイベントにも出演している。さらに、公民館まつり、公民館主催の「子どもフェスティバル」にも参加して憲法九条を宣伝しています。

以上が交流会で報告されたことの部分的紹介である。交流会を終えて感じたことは、「九条の会」の活動は、その地域的広がりや活動の厚みによって、平和と民主主義をすすめる市民活動の土台をなしているということです。

(斎藤隆夫)

来年から使われる

小学校の教科書採択教育委員会 学校現場の希望が通る、

今夏、多くの市民の傍聴者が見守る中、藤沢市の教育委員会は、来年度から使用する小学校教科書を採択しました。教育委員会が、傍聴席を前回の倍の100人に増やしたことや、藤沢市が他市に比べて情報公開が進んでいる点は、大いに評価したいと思います。ただし、傍聴席100に149人も人が駆けつけたため、49人は定員オーバーで中に入れませんでした。審議では、今回は学校現場の希望が通った、と言っていいでしょう。ただし、現場からの「教科用図書調査書」や「市民からの意見書」「調査員の調査資料」にふれた発言はほとんどなく、学校現場や市民の声に謙虚に耳を傾けるという教育委員の姿勢を、これからもさらに求めていきたいと思っています。

来年は中学校教科書採択の年です。現場の声や市民の声に背を向けて、侵略戦争美化の育鵬社を採択した2011年の暴挙を、二度と許すことはできません。子どもたちが平和な社会を担うことを学べる教科書を採択してほしい、と思います。

(持田早苗)

—江ノ電沿線九条の会—
『父と暮せば』
一人よみ語り芝居鑑賞



今年の初夏の集いは「父と暮せば」井上ひさし作。ひとり

読み語り芝居をされている天のたつしさんにお願ひしました。

裸電球ひとつの下でくりひろげられる天のたつしさんの広島弁のかたり芝居は、参加者を69年前のあの広島の地にひきこみました。公演後、天のさんを囲んでの座談会では、天のさんが、この作品に出合ったいきさつや今日までに76回を数える演出の努力などをざっくばらんに話してくださいました。この日は24名の参加者。「こんなすばらしい語り芝居は、もっとたくさんの人と共有したかった」との声が寄せられました。(吉鶴美智子)

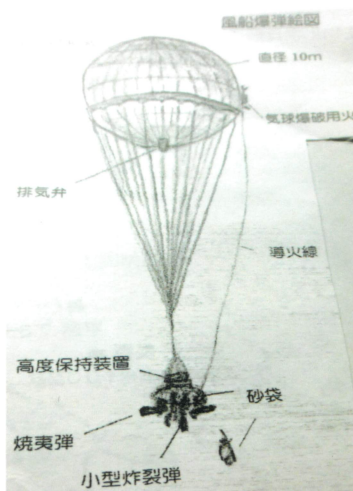
湘南大庭九条の会5周年集会
自作の、朗読構成劇を上演



9月21日、湘南大庭九条の会では5周年記念の行事として、自分たちで作った「歴史に自分史を重ねて」という朗読構成劇を上演しました。舞台のスクリーンに映し出された映像を紙芝居に見たてて物語を語るというもの。赤い夕日の満州が舞台で、自分史を歴史を重ねて、再び戦争を起こしてはならないという思いを込めて会員の皆さんが熱演しました。

藤沢市のピースリングバスツアーで
明大登戸研究所を見学して
國枝 健

9月21日(日)、平和の輪のピースリングバスツアーで明治大学平和教育登戸研究所資料館を見学した。今回は、ボランティアガイドさんの丁寧な説明のあとビデオを見た上での見学だったので非常にわかりやすかった。風船爆弾を始めハブやマムシ・毒草など毒物合成、青酸化合物や炭疽菌などの細菌兵器の研究実験の様子



がビジュアルに展示説明してあった。

中でもガラスケースに入れられた中国人死刑囚が生きたまま毒物合成の人体実験されている写真の前で私は動けなくなった。

一風船爆弾一

この資料館は、長野県赤穂高校と川崎市の法政二高の生徒達が、当初文化祭発表を目的にした調査活動から始まった。ごく普通の生徒たちが学校の授業で習わない歴史の隠された事実の発掘に引き込まれ、歴史家もなしでなかった史実の解明を実現したのは感動した。

(次号に続く)

告知板

- 10月13日(月・休) 九条かながわの会主催「今こそ9条 in 川崎 あなたは戦争する国を許しますか?」エポックなかはら 参加費～会員 500円(事務局まで)
- 10月23日(木) 秋の一斉チラシ播き 1:00
集合場所は明治公民館の工作室
- 11月24日(月・休) 九条の会が呼びかけて 日比谷公会堂で集会とパレード
- 11月24日(月) 秋の学習会 14:00～16:00
藤沢市民会館第2展示ホール
- <9の日行動>
 - 10月9日(木) 13:30～サンパール広場
 - 11月9日(土) 13:30～サンパール広場